

# 蠅の王

#3

理不尽さに今、うんざりしています。あーしんどい。  
しんどい作品です。

■ -----

映画では何度か観た『蠅の王』。時代や場所が変わると、どんな感じになるのか？

興味ありました。いい意味での裏切り。人の嫌な部分、弱い部分、哀しい部分、いっぱい描かれていて、心が痛くなった。けど、人間が思いっきり描かれていたなあーと。

テンポよく、とても興味深く観ることができました。

[女性:看護師] 1月8日(土)19:00観劇

■ -----

……最後まで目が離せなくて見てしまいました。

初めのほうでおかしくなっていた人物の方が、まともな人間だったのだろうかという気がします。

無表情な豚は妖怪的なものの象徴ですが、時々挿入される人間たちの醜悪な表情のおぞましさにはぞつとさせられました。

なんか自分が仕事のできないほうのタイプでよかったなあという気がしています。

[男性] 1月8日(土)19:00観劇

■ -----

会社がラスト豚小屋になり果ててしまって、しばし呆然としました。

生きていると豚だったり、犬だったりを相手に見たり、自分に感じたりします。

一番目を背けたいのに、しょっちゅう簡単にその部分に会います。

願わくば、豚マスクを自分からかぶるのは、ごめん被りたいです。それなら敵前逃亡するほうを。

[無記名] 1月8日(土)19:00観劇

■ -----

セクハラ問題のうるささ、仕事より愚痴の多さ、フォローしない上司、その他諸々、観ていたらずっと、「仕事しなさいよ」と、イライラしてしまったが、見事、作中にはまったということでしょうか。

会社勤めをしている人は身につまされる部分が多く、痛かったです。

[女性] 1月9日(日)14:00観劇

面白かった。

サラリーマン社会、人間の本質、個の強さ弱さ、さまざまなしがらみを織り交ぜながら、言葉の操りだけでなく、単純なセット、不思議な仮面でまったく飽きさせることなく、テンポ良く見せてくれた。

台本の面白さ、演出の妙も感じた。機会があったらまた是非観たい。

[男性:教員] 1月9日(日)14:00観劇

大変身につまされる内容でして、ところどころ直視できない、耳を塞ぎたくなるシーンがありました。

学業(勉強)はきっちりしたレベルで正しい間違いが分けられ、数字という目に見える成果がでますが、「仕事ができる、できない」は、見方によってまったく違うし、仕事はまったくの一人でできるものではないので、すべてがあやふやです。

だから、声の大きい人、上司と仲がよい人、話がうまい人……が「仕事できる人」と言われてしまう。

理不尽さに今、うんざりしています。あーしんどい。しんどい作品です。

[女性] 1月9日(日)19:00観劇

すごく胸くその悪い話でしたが、それだけ自分の身近で似たような状況……というか、身に覚えのある問題なのだと思います。学校、社会、会社、ママ友の付き合いetc.

[女性] 1月9日(日)19:00観劇

今回初めてこのような芝居を拝見しましたが、抵抗なく楽しめました。

時間の経過などをスローモーションな動きと音楽で表現しているところが効果的で印象的でした。

豚のマスクもとてもシュールでアクセントになっていて良かったです。

[無記名] 1月9日(日)19:00観劇

見応えのある芝居でした!!

オープニングの不気味な緊張感がラストまで一気に見せてくれた、という感じ。

豚のかぶり物……あれはかぶり物ではなく個々の人間の奥底に潜む悪の部分なのでしょうか？

劇中で相手をけなしてこき下ろす気持ちもわからなくはない。ということは私自身の中にも豚の仮面のよう  
な不気味な悪が存在しているんだなあ～なんてことを考えながら見ました。

毎回観て思うのですが、俳優陣の演技は素晴らしい!の一言に尽きます。

次回作も期待しています。ありがとうございました。

[女性] 1月9日(日)19:00観劇

■ -----  
上演時間中、引き締まったテンポの良い舞台で、観にきて良かったと思いました。

役者さんはセリフも動きも上手で、鍛えられているとわかります。若手の人も、他の小劇場の役者さんと比  
べ、格別でした。

会社員として、現実にもある世界だと思ったり、誇張しすぎと思ったり、いろいろと感じましたが、あの役の立  
ち位置が自分の考えに近いとか、芝居の中に入り込んでしまいました。本当にとっても良かったです!

[女性:会社員] 1月9日(日)19:00観劇

■ -----  
舞台上のピリピリ感がこちらまで伝わってきて、私の心の中もモヤモヤしてしまいました。

音楽に合わせて時間軸が変わったり、全員でコミカルに動いたりしているのがすごいなと思いました。

何だか実際にこういう風景がどこかの会社であるのかなと想像すると怖いです。

人の心の卑しさや怖さ……なんと言って表現したらいいのかわからないけど……なんか、怖かったです。

[無記名] 1月9日(日)19:00観劇

■ -----  
各キャラクターが非常に個性的で、一人一人が強く印象に残りました。

仕事ができない人間も、できる(と思っている)人間も、会社という大きな枠から見れば、結局、同じ程度の  
価値なんだ、という無常観がとても重いです。(笑)

人間って、ちっぽけだなあ。

細かい時間進行のアクションも丁寧に作り込まれていると感じました。全員が揃うととてもインパクトがあり  
ますね。

[無記名] 1月9日(日)19:00観劇

■ -----  
人間の感情をあらゆる表現で伝えたり、キャラクターの負の部分の立て方など、新しい視点で人間を見る  
ような、とても恐ろしく、興奮するお芝居でした。

ドキドキしたというのが一番大きな感想です。

[女性:フリーター] 1月9日(日)19:00観劇



初めて拝見しました。

各役者さんを詳しくは存じあげませんが、配役が役柄とぴったり合っているなあとつくづく思いました。

心を病んでいく描写がとても丁寧で、セリフ一つ一つが考え抜かれている気がしました。

ところどころ、グリーンの照明のときに役者さんの動きがスローモーションになったり、表情が変わったり、という演出は、刺激的でした。

8者8様の演技、堪能しました。原作も読んでみたいと思いました。

[女性:会社員] 1月10日(月)14:00観劇



どこかのオフィスを覗き見しているかのように、リアルな演技に(せっかくの休日なのに)、自らの職場を思い出し、胃が(心も!)痛みました。

皆さんサラリーマンの経験者でしょうか!!

はっきりとしたテーマがある、しかもどこの職場にも起こりうる問題。

私もあの豚の仮面をかぶっていると、途中で驚きました。大変見応えのある素晴らしいステージでした。

[女性:主婦] 1月10日(月)14:00観劇



原作はあらすじしか知らなかったのので、“閉塞した中で瓦解していく人間関係”の話なんだろうな〜くらいで観に来たのですが、この上なくリアルに現代で……。

あそこまでひどくなくても、自分の職場を思い返したりして、何かいろいろ考えてしまいました。

イヤな人がすご〜くイヤな人に見えて、ほかも一人一人がリアルで、いつの間にか私もその一員みたいな気になり、引き込まれる舞台でした。

[女性] 1月11日(火)19:00観劇



身近に、年齢に関わらず、ある問題だと思えます。

自己中心的な考えの人が増えることで、社会が変わってしまう。自分も紙一重なときがある弱い人なので、一線を越えない、強く優しい人になりたいと思いました。

パントマイムがいつも良いなと思えます。

[女性:会社員] 1月11日(火)19:00観劇

■ -----  
すごく面白かったです。

一人一人のキャラが(脚本・演者ともに)ブレず、最後まで魅了されてしまいました。

時間経過や回想、悪意ある集団の表現がスタイリッシュというか……とても鮮明に印象づけられています。客席まで舞台に呑み込まれてしまったような感覚に陥りました。

素敵な時間をありがとうございました。

[無記名] 1月12日(水)14:00観劇

■ -----  
私は19年間働いていましたが、鬱的になり会社を辞めました。パワハラではないのですが……。

周りには、いい人なのに仕事ができない人に対し、歯に衣着せぬ言い方で発言する人もいました。

忙しかったり、追い詰められると、人は変わります。

「仕事抜きならいい人なのにね」という場面もありました。

仕事ができなければ発言権はない! そんな会社が少しでも民主的になることを望みます。

民主的になるには自分自身の言葉で語れるようにならないと……。

次回作楽しみです。

[女性] 1月12日(水)14:00観劇

■ -----  
新鮮な感動を受けました。

既に観に行った方が、「あっという間の2時間」と口々に言われていましたが、まさにその通り!

普通の精神の持ち主が追い詰められていく、および、追い詰めていく様子が見事に描かれていました。

私ももっと過激な職場にいたのでよくわかります。

[女性:自営] 1月12日(水)14:00観劇